

# 令和元年度 横浜市学力・学習状況調査 結果報告と今後の課題

子どもたち一人ひとりが目標に到達していることを調査する「横浜市学力・学習状況調査」が1・2学年を対象に昨年度の2月に実施されました。横浜市教育委員会から公表された調査（学習状況、生活・学習意識）の結果をお知らせいたします。

## <学習状況調査の結果(通過率%)>

1年 (現2年)	観点	国語				社会			数学			理科			英語			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	思考・判断・表現	技能	知識・理解	見方や考え方	技能	知識・理解	思考・表現	技能	知識・理解	表現	理解(聞き取り)	理解(読解)	言語事項
本校		92.0	61.3	68.7	70.0	54.5	76.6	68.1	44.9	70.8	74.6	53.4	56.4	67.3	52.5	66.3	77.5	59.1
	市	87.8	63.1	62.3	65.2	48.7	71.1	65.2	35.9	67.0	72.2	50.9	56.9	61.9	46.1	59.2	70.9	45.2
2年 (現3年)	観点	国語				社会			数学			理科			英語			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	思考・判断・表現	技能	知識・理解	見方や考え方	技能	知識・理解	思考・表現	技能	知識・理解	表現	理解(聞き取り)	理解(読解)	言語事項
本校		88.3	69.5	66.5	64.0	44.4	58.7	73.5	56.6	72.3	60.4	55.0	75.1	74.4	47.5	67.7	65.0	47.1
	市	79.0	68.1	62.0	57.1	41.7	53.4	68.1	51.1	68.6	59.3	48.8	64.6	64.0	40.0	63.2	57.8	40.7

1学年、2学年ともに、多くの教科・観点で、横浜市の平均通過率を上回りました。

## <教科ごとの学習状況の結果>

### 国語

2年生は、すべての観点で市の平均通過率を上回りました。1年生は、「話すこと・聞くこと、読むこと、言語についての知識・理解・技能」の3つの観点で市の平均通過率を上回っており、基礎・基本が定着していると考えられます。一方、「書くこと」の観点では、「叙述の仕方などを確かめ、分かりやすい文に書き直す」「段落の役割を考えて、文章を構成する」設問で課題が見られました。今後は「情報を読み取る、書く内容を作り上げる、文章構成を考える、表現を選ぶ、表記する、推敲する」といったステップごとに練習して、「書く」力を高められるように取り組んでいきます。

### 社会

1年生、2年生ともに、すべての観点で市の平均通過率を上回りました。1年生は地理・歴史ともに偏りなく、市平均以上の通過率となっており、特に「資料から特色を読み取る」「資料を見て考え、表現する」設問が市平均を大きく上回っています。2年生は地理において、「知識・理解」の通過率が高く、基礎知識がしっかりと定着していることが見て取れます。一方、歴史においては、「知識・理解」で市平均を下回る設問が複数ありました。この結果を踏まえ、3年生の学習で再度、確認してまいります。今後は基礎知識の定着に力を入れ、プリントで確認する機会や様々な資料にふれて考えを広げる機会を多くもつようところがけます。

### 数学

1年生、2年生ともに、すべての観点で市の平均通過率を上回りました。授業の中で問題演習の時間を多く確保してきた成果が十分に見て取れる結果といえます。今後は授業の中で問題演習に継続して取り組んでいきます。あえて課題を挙げるとすれば、2年生において「授業で自分の考えを数や式、言葉で説明しようとしている」という意識調査で、「している」の回答率が市平均を下回っていることです。今後は、教え合いや生徒自身が解法などを説明する機会を増やした授業展開に取り組んでいきます。

### 理科

1年生は、「技能」の観点が市の平均通過率を下回りました。授業の中で実験・観察を多く行い、技能の定着を図ってきましたが、物理・化学の分野で技能の定着が十分でないことがわかりました。今後は、問題演習を増やし、技能の確実な定着に努めます。2年生は、すべての観点で市の平均通過率を上回りました。これは、実験や話し合い活動を積極的に取り入れながら、生徒が主体的に取り組める授業を行ってきた成果と考えられます。今後は確かな学力の定着を図るため、全学年で生徒が主体的に取り組める授業を実践してまいります。

### 英語

1年生、2年生ともに、すべての観点で市の平均通過率を上回りました。特に1年生では、「言語事項」の観点で市の平均通過率を大きく上回りました。また、1年生、2年生ともに、活用問題で市の平均通過率を大きく上回っている傾向が見て取れます。これは、音読や問題演習で単語や文法に触れることだけでなくとどまらず、会話やライティングを通して英語を活用する機会を多く確保してきたことが、この結果につながっていると考えられます。引き続き、英語を活用する機会の多い授業に取り組んでいきます。また、今後は、聞き取りや会話活動等の聞く力を伸ばす活動にもさらに力を入れていきます。

## <生活・学習意識調査の結果>

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合計した値です。

質問項目	旭中 2年生	市平均 2年生	旭中 1年生	市平均 1年生
勉強は好きですか。	42.8%	38.0%	42.7%	39.7%
学校の授業は分かりやすいですか。	77.2%	64.1%	63.1%	66.0%
授業では、自分の考えを発表していますか。	60.0%	50.8%	62.2%	48.4%
人とコミュニケーションをとることが好きですか。	81.9%	84.1%	90.3%	85.7%
自分にはよいところがあると思いますか。	62.9%	70.5%	76.7%	71.4%
人の気持ちを考えて行動するようにしていますか。	94.3%	93.8%	92.2%	93.0%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	94.3%	94.3%	93.2%	95.2%
誰かの役に立つ人になりたいと思いますか。	93.3%	92.0%	96.1%	91.8%

「勉強が好き」と答えた生徒の割合が前年度より上がっています。また、以前から本校の課題となっていた「人とコミュニケーションをとることが好き」「自分にはよいところがある」の設問についても、まだ市平均を下回っている部分がありますが、改善傾向といえます。今後は人との関わりの中で、親和的で相互に認め合う姿勢を育てながら、生徒の自己有用感を高めていきたいと思います。